

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 1 区分
【発行日】平成24年10月11日 (2012.10.11)

【公開番号】特開2011-220783(P2011-220783A)
【公開日】平成23年11月4日 (2011.11.4)
【年通号数】公開・登録公報2011-044
【出願番号】特願2010-89124(P2010-89124)
【国際特許分類】

G 0 1 D 5/245 (2006.01)

G 0 1 B 7/30 (2006.01)

【F I】

G 0 1 D 5/245 X

G 0 1 B 7/30 M

【手続補正書】

【提出日】平成24年8月1日 (2012.8.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

回転体の回転軸に取付けられた回転側導体と、
これに対面する樹脂カバー部材に取付けた固定側導体と、
両導体の間のインダクタンスが両者の回転方向の位置関係に応じて変化することを利用して、前記回転体の回転位置を検出する電子回路と、を備えた回転角度検出装置であって、

前記樹脂カバーは、

前記固定側導体と前記信号処理回路が装着された回路基板、外部装置と電氣的に接続するためのコネクタ、当該コネクタに形成されるコネクタ端子と前記回路基板とを接続する電気導体を有し、

前記回路基板の少なくとも一部と前記電気導体とが同一の樹脂によって成形された一つの成形体として構成されている

インダクタンス型非接触式回転角度検出装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載されたものにおいて、

前記回路基板に固定された固定側導体と電気導体とが同一の樹脂によって被覆成形された一つの成形体として構成され、

当該成形体が前記コネクタを有する前記樹脂カバーの成形樹脂によってさらにオーバーモールドされているインダクタンス型非接触式回転角度検出装置。

【請求項 3】

請求項 1 若しくは 2 のいずれかに記載されたものにおいて、

前記回路基板と前記電気導体との電氣的接続部が前記成形体若しくは前記樹脂カバーと同一の樹脂によって被覆成形されているインダクタンス型非接触式回転角度検出装置。

【請求項 4】

請求項 3 に記載されたものにおいて、

前記固定導体を覆う樹脂層の厚さが、前記電気導体を覆う樹脂層の厚さより薄く形成されているインダクタンス型非接触式回転角度検出装置。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載されたインダクタンス型非接触式回転角度検出装置を備えたモータ駆動式の絞り弁制御装置において、

前記モータへの電源供給用の中継端子が前記樹脂カバーの成型樹脂と同一の成形樹脂で成形され、モータへの電源供給用の電気導体が上記回路基板と他の電気導体と一緒に一つの成形体として構成されているモータ駆動式の絞り弁制御装置。

【請求項 6】

請求項 5 に記載のものにおいて、

前記絞り弁軸若しくは絞り弁軸に固定されたスロットルギアに、前記回転導体に取り付けられているモータ駆動式の絞り弁制御装置。